

# Newsletter

Vol. 16



チュラロンコン大学 - 東京医科歯科大学  
研究教育協力センター



CU-TMDU Research and Education Collaboration Center, Thailand

March 31st, 2021

## 目次:

① この一年、そしてこれからの国際交流	1
② タイでのコロナとワクチンの状況	2
③ チュラロンコン大学とのJDP	3
④ マヒドン大学とのJDP	4
⑤ JDP4大学合同の教職員FD研修の開催	5
⑥ TMDUとタイ国との協定	6



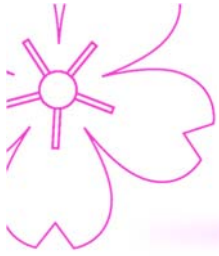
## ① この一年、そしてこれからの国際交流

我

国では、新型コロナウイルスの患者が見つかってから1年が過ぎました。この間に、1波、2波、3波という具合に徐々に高く大きくなる波に襲われ、さらには2度めの緊急事態宣言を体験することとなりました。海外からの入国制限、また海外でも入国後の自主隔離などの制限が続くなど、海外との往来は、それまでとは異なり、非常に難しくなりました。統合国際機構としても、海外大学との交流をサポートする部門だけに、コロナ禍のもとで、どのように進めていくのがよいのか、非常に大きな悩みとなっています。とくに、ジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）や学生の海外派遣など、海外大学との共同作業を前提としているだけに、今回のコロナ禍において、進めることの困難に直面しております。一方で、情報通信技術（Information and communication technology）の活用が進められています。技術そのものはもっと前からあったのですが、対面での会議や授業といったものの代替えというイメージが強かったものです。しかしながら、このコロナ禍を通じて、より良く活用することが検討され、かえって我々の空間的・時間的距離が縮まったように思います。

必要は発明の母とは、昔から言われておりますが、オンライン交流の充実を図るべく、様々な知恵を出していくことがもともとめられていると考えます。これからは、ワクチン接種も進み、従来の交流が回復していくのかもしれませんが、今回の経験で培った試みをさらに発展的に進めていけるよう、考えていきたいと思っております。■

※ タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 教授 秋田 恵一



## ② タイでのコロナとワクチンの状況

### ワクチン接種の開始

2021年2月22日時点の現在では、92の国で新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。全世界で接種された新型コロナウイルスのワクチンは合わせておよそ2億万回分です。一方、タイ政府は2月28日にワクチンの接種を開始すると発表しました。

タイ政府は、中国・科興控股生物技術（シノバック・バイオテック）のワクチンを2月に20万回分、3月に80万回分、4月に100万回分輸入とし、医療従事者、感染率の高い地域在住者、高齢者及び慢性疾患保有者が優先されます。5月末には英製薬大手アストラゼネカと英オックスフォード大学が共同開発したワクチンをタイ国内で生産した2600万回分を供給することです。優先対象外の人たちは3月～4月に接種するとし、21年末までに少なくとも50%の国民がワクチン接種を受ける事を目指しています。

### ワクチンパスポート

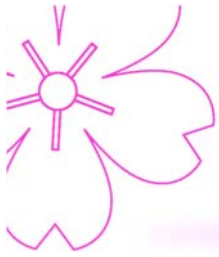
タイ国内の各産業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け続けていますが、とりわけ観光業は大きな痛手を受けています。2月中にタイ政府観光庁(TAT)は、観光事業を復活させるために、新型コロナウイルスのワクチン接種をすることで14日間の隔離検疫なしでタイ旅行を可能にする、「ワクチンパスポート」の提案をしていました。観光事業は壊滅的な被害を受けているため、観光業で働くスタッフは、医療従事者と同じく最初のフェーズでワクチン接種され、プーケット島はこのシステムを実施する最初の県で、これが成功すれば他の観光地でも実施するといった提案もありました。

一方、ワクチンパスポートはWHO（世界保健機関）ではまだ検討中であり、ワクチンパスポートの具体的な枠組みはまだ推奨していません。タイ保健省疾病対策局の最新声明によると、ワクチンの効果を示す証拠がまだ不足しており、入国の条件としてワクチン接種証明書の提示は要求されるべきではないとしています。ワクチンの有効性に関する十分な情報があれば、タイはワクチンパスポートを採用する可能性があります。このアイデアは再度検討のため、タイ政府はワクチンパスポートの発行について、3月8日に話し合うとしています。■

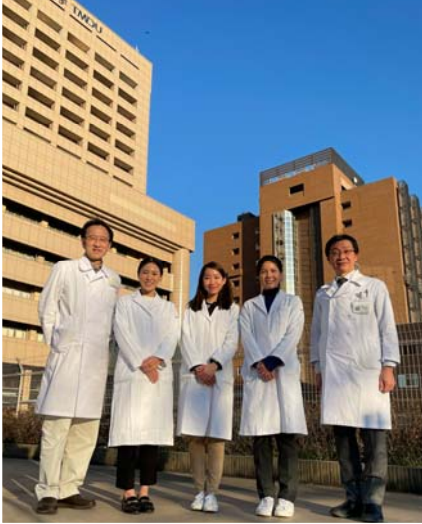


国立病院でCOVID-19のワクチンを受ける医療関係者の様子。

\* チュラロンコーン大学 客員講師 Issareeya Ekprachayakoon



## ③ チュラロンコーン大学とのJDP



2019年入学生と指導教員

### 学生の受入

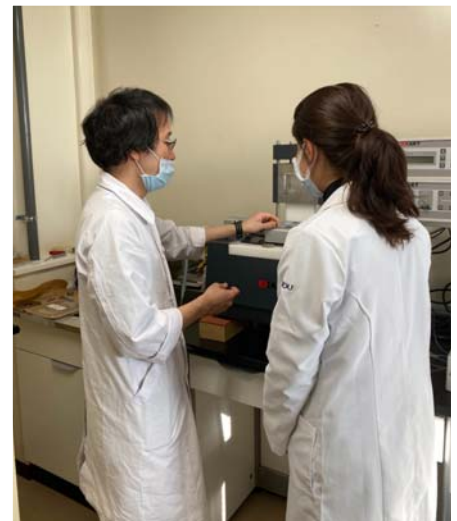
**2** 020年11月に、2019年入学生が本学での学修を開始しました。通常であれば毎年6月に来日するところ、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、来日が延期されました。来日するまでの間、学生はチュラロンコーン大学において研究に必要な手技などの遠隔ならびに現地指導を受け、本学での研究を滞りなく開始することができました。来日が遅れた場合でも本学での研究期間は1年を確保するため、学生は2021年10月末まで本学で学修することになります。

### 学位論文審査への道

本専攻では学位論文審査までに2つの試験を課しています。1つ目は1年次末までに実施する進級試験、2つ目は2年次末までに実施する論文企画試験です。学生は研究テーマ及び研究の進捗についてプレゼンテーションを行い、両大学の評価委員がアドバイスを行います。これは本専攻の特徴的な仕組みで、学生が客観的に自身の研究について確認し、確実に学位論文審査に向けて研究及び論文を執筆するにあたり役立っています。在学学生はいずれも予定どおりに各試験に合格しており、2016年入学生（第1期生）の学位論文審査を同年5月から6月に予定しています。また、2021年3月に、2020年入学生の進級試験が行われる予定です。

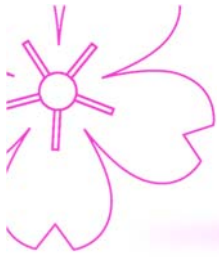
### プログラムの改善に向けた取り組み

本プログラムでは、毎年、自己点検・評価、外部評価、教職員FD研修を行っています。自己点検・評価は2020年11月から2021年1月にかけて実施しました。評価の項目は大分類3つ、小分類8つがあり、会議体、方針、評価体制、入学者選抜、学生支援などについて評価を行います。この自己点検・評価報告書をもとに、外部評価を2021年2月から3月にかけて実施しました。外部評価はプリンスオブソンクラー大学の教員と広島大学の教員に依頼をし、評点及び改善のための提案をいただいています。教職員FD研修については、今年は初の試みで、チリ国チリ大学とのJDP、タイ王国マヒドン大学とのJDPと合同で開催予定です。■



本学での研究指導の様子

✧ 咬合機能矯正分野 教授 小野 卓史



## ④ マヒドン大学とのJDP

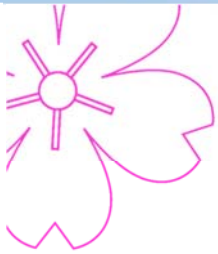


本学教員と一期生との面談の様子

9月30日、タイ王国マヒドン大学と本学とのジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）に、4月に第一期生として入学した3名と、本学教員との間で入学後初となる面談が、ビデオ会議（Zoom）にて行われました。面談は新型コロナウイルス感染拡大の影響で懸念されていたマヒドン大学での履修及び研究計画の進捗状況の確認をするために行われたものです。本学では、4月から5月までの緊急事態宣言の中、研究活動に制限があり、授業などもすべてオンラインで行われるようになるなど、カリキュラムの様々な変更を余儀なくされました。また、マヒドン大学でもオンライン授業などが取り入れられているとのことでした。

面談には、本学からは、プログラム責任者である秋田教授、指導教員である田邊教授、三宅教授、田賀教授が参加しました。科目履修については、コロナ禍においてもオンラインツールを利用して予定を組み替えながらも進められること、研究については、日本への滞在が不透明な中、マヒドン大学を拠点として研究を進める準備が整っていることについてといった、コロナ禍においてもプログラムが円滑に進んでいる様子が学生から伝えられ、マヒドン大学側の迅速な学修及び研究環境整備の成果と、第一期生の当プログラムへの意欲の高さを実感する機会となりました。また、最後に本学教員との質疑応答が行われ、今後の本学滞在に向けた情報共有とともに、お互いにコミュニケーションを取るための貴重な機会となりました。スタートしたばかりの当プログラムは、マヒドン大学の協力の元、順調な滑り出しを見せています。■

✧ タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 教授 秋田 恵一



## ⑤ JDP 4 大学合同の教職員FD研修の開催 (Faculty Development Seminar 2020)

**教**員の能力向上と意識共有を行うために、本学のJDP各専攻で毎年行われていた教職員FD研修ですが、3月に初の試みとなるJDP 3 専攻（チュラロンコン大学、チリ大学、マヒドン大学）合同で行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、講演者は各大学にて講演を行うことになりましたが、時差の関係からリアルタイムでの開催が難しいため、各講演者の講演動画を一本の動画に集約し、各大学にてオンデマンドで開催することとなりました。本学からは秋田恵一教授に講演をいただき、コロナ禍における本学の教育・研究への取り組みを中心に講演をいただきました。本学ではこの動画をWebClassに掲載し、Infoにて全学に周知し、たくさんのご視聴をいただくことができました。また、各連携大学においてもたくさんの方にご視聴をいただくことができ、研修を通して本学の教育・研究への取り組みを世界に発信できる素晴らしい機会となりました。■

✿ 統合国際機構 国際交流課 JD・MPH係

University of Chile, Chulalongkorn University, Mahidol University and TMDU  
Joint Degree Doctoral Program in Medical Sciences

**Faculty Development Seminar 2020**

For all employees and students  
**March, 2021**

University of Chile, Chulalongkorn University, Mahidol University and TMDU present



### Taking Down The Splenic Flexure in Lap Colorectal Surgery: Why, When and How?

Dr. Mario Antonio Abedrapo Moreira  
- M.D., Chief of the Coloproctology unit, Associate Professor  
- Coloproctology Unit, Clinical Hospital Universidad de Chile,  
Coloproctology Unit, Clínica Las Condes



### The role of Thai Royal Dental College in graduate studies in Thailand

Dr. Pornchai Jansisyanont  
- D.D.S., M.S., Ph.D., Dean, Associate Professor  
- Department of Oral and Maxillofacial Surgery from Chulalongkorn University



### Joint and double PhD programs in Mahidol University

Dr. Thawornchai Limjindaporn  
- M.D., Ph.D., Deputy Dean of Postgraduate Education, Associate Professor  
- Department of Anatomy from Mahidol University

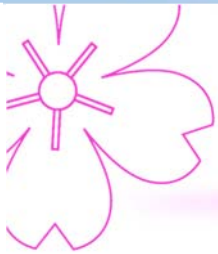


### Changes in Education and Research activities in TMDU by Covid-19 pandemics

Dr. Keiichi Akita  
- M.D., Ph.D., Deputy Director, International Exchange,  
Division Head, Joint Degree Program Advancement Division, Professor  
- Department of Clinical Anatomy from TMDU

**Inquiry: JD&MPH unit: [jd@ml.tmd.ac.jp](mailto:jd@ml.tmd.ac.jp)**

Inquiry: Joint Degree Team, Educational Planning Section (Ext 4678)



## ◎ TMDUとタイ国との協定

**本**学とタイ国の大学及び機関と交わしている協定を紹介させていただきます。全てで8つの機関と大学間及び部局間協定（学術・学生）を合わせ合計21件を締結しています。また、チュラロンコーン大学及びマヒドン大学とはJDPも結んでいます。■

✽ 統合国際機構 国際交流課 総務係

大学間	チュラロンコーン大学	Chulalongkorn University	学術
部局間	チュラロンコーン大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University	学術 学生
部局間	チュラロンコーン大学 保健医療学部	Faculty of Allied Health Sciences, Chulalongkorn University	学術 学生
部局間	チュラロンコーン大学 工学部	Faculty of Engineering, Chulalongkorn University	学術 学生
大学間	マヒドン大学	Mahidol University	学術
部局間	マヒドン大学 シリラート病院 医学部	Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University	学生
部局間	マヒドン大学 ラマチボディ病院 医学部	Faculty of Medicine, Ramathibodi Hospital, Mahidol University	学術 学生
部局間	チェンマイ大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Chiang Mai University	学術
部局間	チェンマイ大学 医学部	Faculty of Medicine, Chiang Mai University	学術 学生
部局間	ソンクラ王子大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Prince of Songkla University	学術
部局間	ナレスワン大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Naresuan University	学術 学生
部局間	シーナカリンウィロート大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Srinakharinwirot University	学術 学生
部局間	コンケン大学 歯学部	Faculty of Dentistry, Khon Kaen University	学術
部局間	国立がんセンター	National Cancer Institute, Thailand	学術

【発行日】 2021年(令3年) 3月31日

【制作】 国立大学法人 東京医科歯科大学

統合国際機構国際交流課総務係 (E-mail: kokusai.adm@tmd.ac.jp)

<http://www.tmd.ac.jp/international/base/thai/index.html>

【本学タイ拠点所在地】

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11F Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University,  
Henri-Dunant Rd. Patumwan, Bangkok, Thailand